

みかもクリーンセンターごみ焼却処理施設運転状況等の報告書



◆ 令和7年11月25日(火)に開催されました「みかもクリーンセンター佐野市運営協議会」において、市の環境政策課より協議会委員の皆様へ、ごみ焼却処理施設の運転状況等についてご報告いたしましたが、地元3町会の皆様にも安全で安心な運転を行っていることをご理解いただくため、協議会終了後に回覧させていただいております。

みかもクリーンセンター佐野市運営協議会：地元3町会（町谷町会・関川町会・黒袴町会）の代表者18名と市の市民生活部長の19名で構成されております。

年2回開催し、上半期及び下半期のごみ焼却処理施設の運転状況等の報告について協議する会です。

○施設の概要

燃焼設備 りゅうどうしょうしきねつぶんかいがす かようゆうろ 流動床式熱分解ガス化溶融炉（1日24時間連続運転）

処理能力 128t／日（64t／日×2炉）

報告内容

（1）施設の運転状況について（令和7年4月1日～令和7年9月30日）

①焼却炉稼働状況及び焼却量

	焼却日数（日）	焼却量（トン）	日平均（トン／日）
1号炉	104	6,309.13	60.66
2号炉	89	5,426.75	60.97
計	193	11,735.88	—
延べ計	175 ※1	11,735.88	67.06

※1 延べの焼却日数は、1，2号炉のいずれか1炉以上運転した日数です。

②可燃ごみ搬入量

受入日数（日）	搬入量（トン）	平均（トン）
156	11,637.31	74.60

令和7年度上半期のごみの焼却日数は175日で、この間のごみの焼却量は、約1万1千736トンでした。これを一日当りの焼却量に換算すると、約67トンの処理を行ったことになります。また、焼却に伴い発生する灰については、施設内の溶融炉で溶かし、スラグというガラス質の物質に変え道路の路盤材などに有効利用しています。その他、焼却に伴い発生するばいじん、不燃物については最終処分場へ運び処分しています。

(2) 排出ガスの排出濃度の測定結果について

○排出ガス中の排出濃度の測定結果（測定日：令和7年9月4日及び5日）

項目	単位	1号炉 9月5日測定	2号炉 9月4日測定	施設管理値	国の規制値 指針値等
ばいじん	g/N m ³	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下	0.08 以下
硫黄酸化物	ppm	0.7 未満	0.7 未満	30 以下	1,260 以下
塩化水素	ppm	1.8 未満	1.8 未満	43 以下	430 以下
窒素酸化物	ppm	37	31	50 以下	250 以下
一酸化炭素	ppm	2	5	30 以下	法令 100 以下 ガイドライン 30 以下
ダイオキシン類	ng-TEQ/N m ³	0	0.000052	0.05 以下	法令 1 以下 ガイドライン 0.1 以下

以上のとおり2炉ともすべての項目について、国の規制値、指針値より厳しい数値である施設の管理値を満たしております。

○用語、単位などの一般的な説明

ばいじん…排出ガスに含まれるすすなど。喘息や気管支炎の原因となる。

硫黄酸化物…石油などの硫黄分が燃えることで生じる。呼吸器を刺激する。

塩化水素…強力な刺激物質で、鼻や気道の粘膜を刺激する。

窒素酸化物…物が燃えるとき窒素分により発生する。光化学スモッグなどの原因物質。

一酸化炭素…有機物が不完全燃焼したとき発生する。中毒などを引き起こす。

ダイオキシン類…塩素を含む物質の不完全燃焼により発生する。発ガン性がある。

g/N m³…1立方メートル中に1g含有することを表す濃度。

ppm…100万分の1を表す単位。1ppmは0.0001パーセントのこと。

ng-TEQ/N m³…(ng/N m³)は1立方メートル中に1gの10億分の1含有することを表し、
(TEQ)はダイオキシン類の量を毒性に換算したことを示すもの。

(3) 環境モニタリング調査の結果について

この調査は、施設の運転に伴い周辺環境へ及ぼす影響を分析するため、大気、水質、土壌について調査を行っています。上半期の協議会の時点では水質調査の結果が出ております。

○水質の調査箇所（調査日：令和7年11月5日）

三杉川上流：栃木市の東川橋下（松永医院の東側）

三杉川下流：佐野市の新橋下（犬伏東小学校の東側）

なお、結果につきましては、すべての項目において環境基準値を満たす結果でありました。

今後とも、安全運転並びに周辺環境の保全について努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

佐野市役所 環境政策課

Tel:0283-22-2654